

忘れてはならない教訓

「県内の災害／県内の水害等の歴史」

明治時代～現在までに発生した主な水に関する被害の記録

変化に富んだ美しい自然の風景と、豊かな恵みを私たちにもたらしてくれる、母なる川「最上川」。しかし最上川は、古くから日本三大急流の一つに数えられるほど、厳しい自然の一面も持ち合わせています。そして、時にその恐ろしい水の力をもって、私たちの生命や財産を奪います。明治時代以降から現在まで、最上川流域で発生した洪水、土砂崩れ、雪害の歴史を振り返ります。

年号	発生日時	災害の様子
明治12年(1879)	8月11日	・大洪水発生。7月上旬から長雨が続き、7度の洪水被害が発生。
明治35年(1902)	8月28日	・300年以來の暴風雨、死者75人、全壊家屋5,127戸。
大正2年(1913)	8月27日	・早朝より大水害。山形市内の旧県庁前では水深約2.4mに達する。
昭和4年(1929)	5月24日	・長井市最上川が氾濫。
昭和12年(1937)	8月6日	・中山町最上川支川石子沢川が氾濫。
昭和16年(1941)	7月23日	・川西町支川元宿川が氾濫。
昭和19年(1944)	7月19日～20日	・最上郡北部を中心に300mm以上の大雨となる。死者7人、負傷者55人。
昭和22年(1947)	9月15日	・カスリン台風による豪雨のため、県下全域に被害。
昭和23年(1948)	9月15日～16日	・県下全域が豪雨に。流失家屋4戸、浸水家屋3,945戸。
昭和31年(1956)	7月14日	・朝日、吾妻、飯豊の山々に約100mmの大雨が降る。死者5人、重軽傷者16人。
昭和32年(1957)	7月7日	・天童市付近の最上川支川乱川が氾濫。
昭和33年(1958)	7月20日～28日	・台風による洪水により、死者1人、全半壊家屋47戸、浸水家屋3,841戸。
昭和40年(1965)	7月1日	・河北町付近で最上川が氾濫。
昭和42年(1967)	8月28日	・[羽越水害]低気圧による集中豪雨が、飯豊・朝日山系を中心に発生。1時間70mm、総雨量300～600mmを記録する。死者8人、全半壊流失家屋4,119戸、浸水家屋31,123戸、被害総額約226億円に達し、激甚災害の指定を受ける。
昭和44年(1969)	8月7日	・最上、庄内地方を中心に総雨量200mmの集中豪雨が発生。死者1人、負傷者10人、流失家屋15戸、浸水家屋3,787戸、被害総額約52億円。
昭和46年(1971)	7月16日	・酒田市京田川、相沢川などで氾濫。
昭和47年(1972)	7月8日	・集中豪雨により、戸沢村濁沢川が氾濫。
昭和48年(1973)	6月18日～23日	・県内各地で落雷を伴う大雨に見舞われ、村山南部、庄内、最上地方を中心に浸水被害が発生。浸水家屋1,040戸。
昭和49年(1974)	8月1日	・停滞した前線により鳥海山293mm、新庄204mmの集中豪雨が発生。死者2人、流失家屋3戸、浸水家屋1,995戸、被害総額約130億円。
昭和50年(1975)	8月6日	・[真室川水害]県北部を中心に、集中豪雨が発生。鳥海山342mm、金山225mmに達し、特に真室川は堤防が破堤し、真室川町に被害が集中。死者5人、負傷者28人。
昭和51年(1976)	8月5日～7日	・県北部を中心に県内31市町村にわたって水害が発生。特に、庄内、村山地方に被害が集中し、被害総額は240億円を超した。
昭和52年(1977)	8月8日～9日	・庄内地方を中心に大雨が降り、酒田市で170戸、鶴岡市で35戸の床下浸水が発生した。

年号	発生日時	災害の様子
昭和53年(1978)	6月25日～26日	・梅雨前線の活動により県南部で200～400mm、その他は100mm～150mmを越す大雨となり、置賜地方を中心に県内に広がり浸水家屋598戸、水田冠水2,149haなどの被害をもたらした。
昭和56年(1981)	6月23日	・台風と梅雨前線により県南部を中心に強雨が降り、各地で総雨量100mmを超える。大石田町では、浸水家屋22戸、田畑の冠水200haの被害を被った。
昭和58年(1983)	7月26日	・県北を中心に30～40mmの集中豪雨となり、鮭川下流の小堤より越水し沿川の家屋が浸水。
平成5年(1993)	8月27日	・台風による大雨により、被害総額約30億円の災害が発生。
平成9年(1997)	6月29日	・台風と梅雨前線により、最上川中流部を中心に各地で浸水や堤防の法面崩壊などが発生。
平成10年(1998)	9月15日～17日	・台風により、内陸部を中心として総雨量が70～135mmの大雨となった。
平成11年(1999)	2月26日	・秋田県沖を震源とする地震で遊佐町を中心に住家の被害が発生。
	4月24日～25日	・関東沖の低気圧の影響で、村山や置賜で大雨で約35億円の災害が発生。
平成12年(2000)	4月11日～5月9日	・1月から3月の降雪量が多かったため、融雪時に次々と土砂災害が発生。
平成13年(2001)	1月～4月上旬	・記録的な大雪により、負傷者200人、全半壊家屋3戸などの被害となった。
平成14年(2002)	7月10日～12日	・梅雨前線の停滞と台風の影響で各地大雨となり、30億円の災害が発生。
平成15年(2003)	8月下旬	・前線停滞のため米沢では38mmの時間雨量を観測。
平成16年(2004)	6月～9月	・台風6、15、16、18の接近し強風による被害が発生した。特に台風15号(8月)により庄内地方で死傷者が、また農業関係の被害が多発した。
平成16年(2004)	7月26日	・大気の状態の不安定により局地的に大雨が降り、高畠では時間雨量32mmを記録。住家被害42棟。
平成17年(2005)	8月14日～15日	・庄内、村山地方で断続的に大雨が降り、朝日村荒沢では1時間あたり44.5mmの降雨を記録した。
平成17年(2005)	12月	・日本海側で記録的な大雪となった。県内では12月の積雪として最大記録を更新。死者2名、重傷者61名、軽傷者40名。
平成18年(2006)	7月28日	・鳥海山で186.5mm、差首鍋で時間雨量43mmを観測。住家被害10棟。土砂、河川被害により10世帯34人への避難勧告、自主避難2世帯4名。
平成18年(2006)	10月6日	・低気圧の影響により、蔵王山で246mm、西吾妻山で244mmの降雨。山形市、上市市、東根市で土砂崩れ発生。
平成18年(2006)	12月27日	・季節外れの大雨が発生。肘折で159mm、大井沢で122mmの降雨。山形市山寺では河川へ転落、死者1名。

IAIGAI

忘れてはならない教訓

県内の水害／資料写真



左上

[鶴岡市 昭和46年7月] 内川の洪水流及び冠水状況で破堤等の危機感が迫る。

右上

[三川町 昭和56年6月] 住宅街における道路の冠水状況

左下

[三川町 昭和56年6月] 住宅街における内水の除去作業

忘れてはならない教訓

県内の水害／資料写真



左上

〔真室川町 昭和50年8月〕 6～7日にかけて降った雨は濁流と化し町内を襲った。

右上

〔真室川町 昭和50年8月〕 6～7日にかけて降った雨は、新橋をも流失した。

左下

〔真室川町 昭和50年8月〕 救助作業の状況

忘れてはならない教訓

県内の水害／資料写真



左上

〔寒河江市 昭和50年8月〕 大雨により地盤がゆるみ道路がえぐられた

右上

〔村山市 平成18年12月〕 季節外れの豪雨により県内各地で浸水被害が相次いだ

左下

〔朝日町 平成18年4月〕 長さ約140m、幅約95m、深さ約15mの地滑りが発生

